

ソフト交付金の事業例【与那原町】

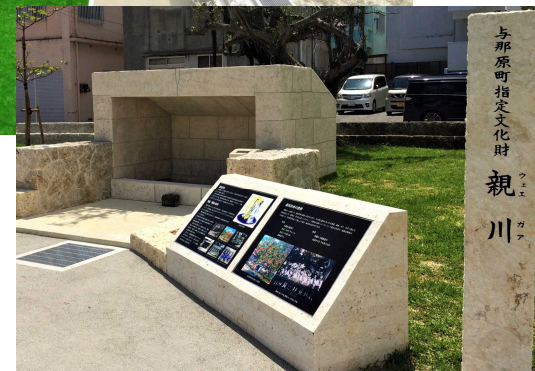
来訪者と町民の交流施設整備事業

- 持続可能な観光振興を図り、災害時には来訪者の避難施設として、また、来訪者と町民が親睦を深める場として、整備を行った。
- 総事業費:15.2億円(国費:12.0億円)
※平成24～27年度
- 平成27年10月 利用開始



親川拝所整備事業

- 歴史・文化を後世に継承・発展するため、親川拝所を復元することにより、歴史資産を構築し、新たな観光資源としての活用を図る。さらに安全に来訪者を迎えるための周辺整備を行った。
- 総事業費:6.3億円(国費4.5億円)
※平成24年度～令和3年度
- 令和4年4月 利用開始



ソフト交付金の事業例【与那原町】

新しい公共交通検討事業

- 高齢者や障がい者、妊婦等の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討のために実証実験を行う。
- 総事業費:0.33億円(国費:0.26億円)
※平成31年度～令和4年度



与那原町海外友好親善大使人材育成事業

- 与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育てる。
- 総事業費:0.14億円(国費:0.098億円)
※平成27年度～令和4年度

